

『感染対策研修』 研修会実施報告

日時 : 令和5年6月8日(木) 13:15~17:15

対象者 : ラダーⅡを目指す者 卒後3年目 地域支援対象研修

参加者数 : 50名(院内26名・地域医療従事者24名)

目標 : 感染予防の基本を理解し、感染対策を習得、看護実践に活用することができる

<講師の紹介>

大和高田市立病院
感染管理認定看護師

S 係長



<内容>



研修は「感染とは」という内容から始まりました。病原菌の感染経路を遮断するため、病院や施設で働く全ての医療従事者が行わなければならない対策が標準予防策になります。中でも、手指衛生が医療感染を防止する重要な方法であるという説明がありました。手洗いは、正しいタイミングで洗い残しなく行ない、正しい消毒手順を実践することが大切になるとあらためて振り返る機会となりました。

次に、標準予防策では遮断できない「接触感染」「飛沫感染」「空気感染」について講義がありました。感染経路別予防策、必要な个人防护具(PPE)とその着脱手順について説明していただきました。自分を守るだけでなく、患者を守る、病院を守るため正しい感染対策を理解し必要な場面で実施していくことが重要であることを学ぶことができました。

最後に5類感染症へと移行になった新型コロナウイルスについてのお話がありました。移行により感染力や毒性が変わるわけではありません。うつらない・うつさない・ひろげないように行動することが引き続き大切になります。

今回の学びを活かし今後も継続して感染対策を実践していきたいと思っております。